

第1回定例会

令和6年度予算など32件を可決・同意

令和6年第1回定例会は2月26日に招集され、全ての案件を議決し3月27日に閉会しました。初日の本会議では、令和6年度予算や関連する諸議案など28件が提案され、この中の21件が委員会へ付託されました。二日目には新たに工事請負契約の締結の議案、最終日には新たに市長から令和5年度一般会計補正予算（第14号）、令和6年度一般会計補正予算（第1号）の2議案と、議員から1件の意見書が提案されました。ここでは、委員会に付託された主な議案の委員会審査の概要などを報告します。提案された全ての議案名および審議結果は、最終面「令和6年第1回定例会の会議結果」をご覧ください。

海老名市介護保険条例の一部改正について

令和6年度から令和8年度までの介護保険事業計画期間（第9期）における介護保険料を定めるため、また令和6年度から開始する海老名市「デマンド型交通高齢者外出支援事業を介護保険法の規定に基づく保健福祉事業として位置付けるための条例改正で、賛成多数で原案可決されました。文教社会常任委員会での審査の概要は次のとおりです。

問 介護保険料の負担割合を12段階から16段階にする理由について伺います。

答 所得段階の多段階化については、国が標準段階の細分化を実施しており、県内でも実施する自治体が多い状況から、本市においても第9期介護保険事業計画で所得に応じた公平な保険料負担を目的に実施するものです。

問 準備基金の活用の方針について伺います。

答 介護保険給付費等準備基金は介護保険財政の安定を図るために必要な役割を果たしています。少子高齢化のピークを見据えて、第9期以降も急激に保険料が上昇しないよう効果的な活用を図ります。

問 デマンド型交通高齢者外出支援事業を介護保険法上の保健福祉事業に位置付ける根拠と利用料金を伺います。

答 高齢者の外出機会を増やすことにより、介護予防や認知症予防、健康増進、生きがいづくりなどを促進する目的があり、今回、保健福祉事業として位置付けるものです。

利用料金は現在検討中ですが、市内の民間交通を利用したときの料金を参考に500円程度で検討しています。

問 デマンド型交通高齢者外出支援事業による民間事業者への影響について伺います。

答 民間事業者の料金体系とのバランスを見ること、そして道路運送法上の手続きが必要ことから、地域公共交通会議に諮って理解を得ながら進めていきたいと考えます。



海老名市自転車等駐車場条例の一部改正について

駐輪場利用者の多様化するニーズに応えた利便性の向上に向けて、キャッシュレス化やウェブ上での手続きなどDX化を推進するとともに、昨今の物価の高騰や老朽化した施設の更新などを踏まえて、使用料を見直すための条例改正で、賛成多数で原案可決されました。経済建設常任委員会での審査の概要は次のとおりです。

問 使用料改定の目的・内容を伺います。

答 昨今の人件費の上昇、老朽化している設備の更新、キャッシュレス化やウェブ化に伴う設備投資のため、令和7年4月から自転車の学生料金を400円、一般料金および原付自転車料金を500円それぞれ増額するものです。

問 DX化の詳細について伺います。

答 キャッシュレス化ではクレジットカード、交通系ICカードなどにより支払えるようになります。また、定期利用の手続きの際、現状の紙での申請では、受付時間が限られますが、ウェブ化により24時間いつでもどこからでも申請できるようになります。

問 利用者数の現状と今後の見込みについて伺います。

答 令和元年は年間4万4千件の契約がありましたが、令和3年までにコロナの影響もあり約7千件減少し、令和4年度にさらに約2千件減少しました。令和5年は回復傾向ですが、コロナ前には戻らないと見込んでいます。



工事請負契約の締結について（中新田小学校校舎外装改修工事）

中新田小学校の外装などの改修工事を行うための契約に関する議案が提案され、全員賛成により原案可決されました。総務常任委員会での審査の概要は次のとおりです。

問 調査をした中で、外装にアスベストが含まれていることが分かったと思いますが、アスベストの飛散レベルと除去の方法について伺います。

答 アスベストの飛散レベルは、レベル3の飛散しにくいものです。除去の方法は、密閉することで素材の飛散を防ぐ、クリーンウォータージェット工法を採用する予定です。

問 騒音や振動が発生する工事内容および児童への影響について伺います。

答 騒音や振動が発生するのは、主に足場の組み立てと、屋上の防水シートを施工する際です。工事を行う時期については、既存の塗膜の除去を夏休み期間に集中して行い、その後の改修は、夏休み後に行いたいと考えています。教育活動中も工事を進めていきますが、騒音や振動が伴う場合は、放課後に実施するなど、学校とも十分調整しながら進めていきます。